

No.10K0002

2010年5月31日

株式会社 アイ・エス・レーティング

1. 格付結果

企業名	富士通エフ・アイ・ピー株式会社
格付の種別	情報セキュリティ格付
格付IDコード	10000260114C1001
格付スコープ	中部データセンター(*) (*)システム運用管理業務 (システム環境構築、運用管理・運用監視等)
格付対象	中部支社中部アウトソーシングセンタ
想定リスク	情報漏えい
格付符号	AA ⁺ _{is} (ダブルAプラス)
格付の方向性	新規格付
有効期間	2010年5月31日から2011年5月30日まで (交付日から1年間)

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはなりません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 I.S.Rating All rights reserved.

2. 格付理由

富士通エフ・アイ・ピー株式会社（以下、FIP 社）は、富士通株式会社の 100%出資子会社であり、システムインテグレーションサービス、Web サービス、アウトソーシングサービスの 3つのサービスを 3本の柱とし、顧客のビジネスニーズに最適化されたソリューション提供を事業内容としている。

富士通グループの理念・指針である「FUJITSU Way」に基づき、FIP 社としての独自の情報セキュリティガバナンス体制を構築し、社内規程の整備ならびに遵守状況の確認等の推進活動を通じ情報セキュリティ強化を図っている。アウトソーシングサービスを提供している本部（以下、本部）においては、事業の特性上、高い水準の情報セキュリティ対策が要求されることから、情報セキュリティへの取組みを品質向上活動の一環として位置付け、ISO9001、ISO/IEC27001、ISO/IEC20000 の 3つのマネジメントシステムを、1つの統合されたマネジメントシステム（IMS: Integrated Management System）として構築する等、情報セキュリティの強化を積極的に推進している。

中部データセンターは、中部地域におけるアウトソーシングサービスの需要拡大に対応するために 2009 年 12 月に新設されたデータセンターであり、高度な運用ノウハウに基づいたサービスを提供している。

同センターにおける重要情報資産としては、サーバおよびデータ保存媒体に格納されている顧客システム内の情報、ならびにこれらのシステムから出力される各種帳票等が主なものである。

また、情報セキュリティへの取組みは、全社共通の取組みに加え、本部の指導のもと同センターにおけるマネジメントシステムを構築し、運用を行っているほか、センター新設後も随時、物理的セキュリティを中心としたリニューアルを進めている等、積極的に情報セキュリティ対策の強化を実施している。

マネジメント成熟度の観点から見れば、IMS 推進会議を中心とした情報セキュリティ管理体制が構築されており、情報セキュリティ関連諸規程の整備ならびに中部データセンターにおける具体的な運用方法を規定したマニュアル類の整備、情報セキュリティ教育を含めた人的セキュリティ、委託先管理、コンプライアンス等では非常に高いレベルで管理が進められてきている。特に、人的セキュリティの面では、教育を通じたマインド・モラル・スキルの向上を重視しており、ディスカッション形式を用いた集合研修への積極的な参加、実務上の遵守事項を簡

●お問い合わせ先 **株式会社アイ・エス・レーティング** 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-10 ランディック虎ノ門ビル 2 階
TEL:03-6430-0470 FAX: 03-6430-0473 <http://www.israting.com>

情報セキュリティ格付は、被格付組織等から入手した情報に依拠して形成した当社の意見であり、その正確性、完全性、網羅性等は必ずしも保証されてはいません。格付事由書、格付レポート等は、原則として被格付組織または被格付組織の格付けを要請した者からの依頼に基づき有償で作成されたものであり、被開示者、閲覧者等には参考情報としてご提供されるものです。格付事由書および格付レポート等は、被格付組織の事業やサービス、被格付組織との取引や情報共有等を推奨するものではありません。当社は、情報セキュリティ格付に関するクレーム、訴訟その他の紛争、被格付組織その他の第三者に関して生じうる一切の損害、損失、費用等について責任を負うものではありません。なお、情報セキュリティ格付に関する一切の著作権その他の知的財産権、営業秘密、ノウハウその他の権利・利益は当社に留保され、当社に専属的に帰属するものとします。

Copyright (C) 2010 I.S.Rating All rights reserved.

潔に取りまとめた書面による個別教育の実施・確認等、非常に高いレベルの取組が行われている。また、センター内の環境の変化に応じたリスクアセスメントが、適宜実施されモニタリングされている。

セキュリティ対策の強度の観点から見れば、データセンター内のセキュリティレベルに応じ、ICカードおよび生体認証による入退管理が行われている。特にマシンルーム等の高セキュリティエリアにおいては、生体認証に加え、画像処理による共連れ防止システム、前室のインターロック制御を組み合わせたセキュリティ対策が施されている。さらに、重要なデータ保存媒体については、金属探知機ならびにRFIDタグを用いた持出し防止策が施されている。

また、社内ネットワークならびにPCからの情報漏えいに対しても、情報セキュリティマネジメントプラットホームを導入した管理策が施されている。

総じて、マネジメント成熟度では、リスクアセスメントの実施から改善への継続的なプロセスを有し、高水準の管理状態を維持・発展させている。またセキュリティ対策強度では、悪意のある外部者・内部者に対する管理策について講じられているレベルにあると評価できる。

以上